

【愛知県田原市】

校務DX計画

1 現状

田原市では、GIGAスクール構想が出されてから、本格的に校務の情報化に取り組んできました。まずは、校務でのICT活用からスタートしました。その後、校務支援システムの導入を進め、掲示板やメッセージなどの機能の活用によって、教職員間での情報共有や資料共有がスムーズに行われるようになりました。さらに、教員のICT活用スキルの向上にもつながっています。

GIGA スクール環境が整備された際にも、校務の情報化を始めた時と同じように、まずは新しい環境を校務で活用して、その便利さを実感することから始めました。このことが、その後の授業活用推進の重要なポイントとなりました。

2 課題及び対策

令和5年10月に実施した「GIGA スクール構想の下での校務のDX化チェックリスト」に基づく自己点検の結果では、以下の項目の実施率は50%未満で、県の実施率とも大きな差があるため、問題点を確認し、確実に実施できるように取り組んでいきます。そのために、今後すでに実施している学校の活用状況を共有し、さらに多くの学校で実施できるように取り組んでいきます。

前段：問	後段：対策	県	本市
学校から保護者へ発信するお便り・配布物等をクラウドサービスを用いて一斉配信していますか。（「全くしていない」割合）		28.6%	50.0%
汎用クラウドツールや家庭連絡アプリ等を活用して各種お便り、給食の献立表、文房具の注文書、関係機関からのお知らせ等を一斉配信できるようにしていきます。			
児童生徒一人一人に配備されたPC・タブレットなどの端末を、家庭で利用できるようにしていますか。（「毎日持ち帰って、毎日利用させている」割合）		21.4%	0%
デジタルドリル教材を導入したり、持ち帰りのルールや家庭での交渉時の対応を明確にしたりします。			
宿題（学期中のもの）をクラウドサービスやデジタルドリル教材を用いて実施・採点していますか。（「全くしていない」割合）		60.7%	86.4%
汎用クラウドツールやデジタルドリル教材等を導入します。			
職員会議等の資料をクラウド上で共有しペーパーレス化していますか。（「全くしていない」割合）		7.1%	54.5%
クラウド上で資料を配布・保存できるようにし、ペーパーレス化を進めていきます。			
職員会議等における検討事項について、クラウドサービスを用いて事前に情報共有し、あらかじめ意見を求めていますか。（「全く求めている」割合）		21.4%	72.7%

汎用クラウドツール等で事前に資料を共有し、各自の都合がつく時間に事前に目を通したり、共同編集機能によりコメントや意見を出したりする体制を整えていきます。		
校内外の行事日程、施設や特別教室の利用予約等について、クラウドサービスを使って共有し、いつでも確認できるようにしていますか。（「全くしていない」割合）	25.0%	68.2%
汎用クラウドツール（例：カレンダー）等を使って、校内外の行事日程、施設予約等について、時間、場所を問わず、入力・編集・確認ができ、教職員間で共有できるようにします。		
授業研究会や校内研修等での協議にクラウドサービスを用いていますか。（「取り入れていない」割合）	46.4%	72.7%
授業研究会、校内研修、校務分掌の会議、学校行事関連の会議における意見交換や反省にチャット機能や付箋ソフト等の共同編集機能を活用し、子供の学びと相似形の研修を実現します。		
教職員から学校へ提出する事務手続き資料をクラウドサービスを用い、受け付けていますか。（「全く受け付けていない」割合）	17.9%	81.8%
休暇申請、出張申請、出張復命、副業申請等、各種手続きのペーパーレス化を推進します。		
業務にFAXを使用していますか。（「使用している」割合）	96.4%	95.5%
電子メールよりもFAXの方が効率的な場合など一部を除き、FAXの原則廃止に向けて、教育委員会から見直しを働きかけていきます。また、電子メールや家庭連絡アプリ等の活用を推進します。FAXと同様に押印についても、原則廃止に向けて働きかけていきます。		

上記以外にも、以下のことに取り組んでいきます。

（１）校務系及び学習系のネットワークの統合

田原市では、児童生徒の個人情報を取り扱う「校務系」、教職員及び児童生徒が教育活動で利用する「学習系」、ホームページの編集やメールの送受信など、インターネットに接続して業務を行う「校務外部系」の三つに分離しています。

今後は、教職員の働きやすさの向上と教育活動の行動化を目指し、ゼロトラストセキュリティの考え方にに基づき、アクセス制御によるセキュリティ対策を十分に講じた上で、校務系・学習系ネットワークの統合について調査研究を進めます。

（２）次世代校務支援システムの導入

教職員の負担軽減やコミュニケーションの迅速化・活発化できる環境を構築するため、校務支援システムのクラウド化について、動向を調査します。そして、校務支援システムの次期更新時のクラウド化を目指し、田原市学校教育ICT化推進委員会等を通して学校現場の教職員と情報共有しながら進めていきます。